

第九支会 あら新 い井 ただ忠 お雄氏

この人



第九支会支会長新井忠雄氏は、昭和14年栃木県佐野市に六人兄妹の第三子として生まれました。

高校卒業後の昭和32年に鉄道会社に入社され、勤務地が川越ということで、平成11年に定年退職をされ今日に至るまで、50年以上にわたり川越にお住まいになっています。

当時は駅の付近には喫茶店もないことに驚き、また街の灯りも暗く、寂しく感じられたそうです。

平成8年に旭町1丁目自治会常任理事に就任されたことをきっかけに、平成12年からは同自治会長を10年間歴任し、支会内の自治会長の推薦を受け、平成22年に第九支会長に就任されました。

高齢化社会の中、世代間交流や情報共有を進めるため、凧揚げや芋掘りなどを行っています。

参加者に応じて趣向をこらし、地域での人間関係が希薄化する中で、高齢者のひとり暮らしの方々との親睦・交流を深めています。

夜間パトロールについては、会員の理解を得て、役員を一律に見ないで高齢者等一定の条件のある人には配慮して実施しています。

小・中学校は複数の学校区がある中で、学校間の調整にも大変ご尽力されています。

意見をよく汲み取りながら会議を進めることで、「協力の心」が生まれてきたと実感しているそうです。

誠実さと包容力を感じる新井氏、ご家庭では趣味の松やさつきの盆栽の手入れをしながら、楽しく充実した毎日を過ごしているそうです。

注意しましょう!!

高齢者を狙った振り込め詐欺や高齢者が被害者となる交通事故が、後を絶ちません。

くれぐれも事件・事故に遭わないよう気を付けて下さい。

名細支会に新自治会誕生***天沼新田グランシア自治会***

平成23年11月20日、川越市名細市民センターにおいて、天沼新田グランシア自治会の設立総会が開催され、初代会長に姫野秀平さんが選出されました。

本市で293番目となる天沼新田グランシア自治会は、東上線鶴ヶ島駅から南に歩いて10分程の所にあります。約100世帯で、若い年代の方で構成されています。

高齢化が進む中で互いに交流を深めて楽しく、明るく暮らせる街づくりのため、若い新自治会の今後の活動に期待します。



設立総会で挨拶する姫野会長

富士山レーダードーム館を見学**—— 川越市自主防災会連絡会 ——**

平成23年11月29日、川越市自主防災会連絡会では総勢89人の参加のもと、富士山麓の富士吉田市にある、富士山レーダードーム館を視察研修しました。

日本の気象観測の象徴ともいえるこの富士山レーダーは、気象観測の大切さを広く知ってもらおうと富士吉田市に移設し、体験学習施設として、ここで第二の人生を送っています。

参加者は、富士山頂の環境を体験するコーナーで、気温-5℃、風速13mの世界を体験するとともに、富士山レーダーが建設されるまでのドキュメンタリー映画に見入っていました。

また、車中では日頃の地域での自主防災のあり方等の情報交換を行いました。